

中国新聞社の顧客データ基盤「たるポ」が 2026年度日本新聞協会技術委員会賞を受賞

地域共創プラットフォームとしての企業連携や会員数の伸長を評価

株式会社中国新聞社(本社:広島市中区、代表取締役社長:岡島鉄也)が運営する顧客データ基盤「たるポ」は、2026年度(第32回)日本新聞協会技術委員会賞を受賞しました。当社の同賞受賞は、2013年度以来5回目です。



■ 日本新聞協会技術委員会賞について

日本新聞協会技術委員会賞は、新聞社の製作・情報技術分野の向上や改善を促すため、日本新聞協会技術委員会が表彰する賞です。

新聞協会加盟社の社員が専門誌『新聞技術』に発表した技術開発が対象で、2026年度は、2025年度に発行された同誌266号～268号に掲載された計34作品から、「たるポ」を含む5作品が選ばれました。

■ 顧客データ基盤「たるポ」について

「たるポ」は、中国新聞社が2024年3月に運用を開始した顧客データ基盤です。

新聞購読者やデジタルサービス利用者などの会員情報を共通IDで統合し、ポイント制度や読者モニター制度などを含む複数のサービスを横断して利用できる仕組みとして構築しました。懸賞やイベントへの参加などの特典も提供しています。

自社の顧客データ管理にとどまらず、地域の企業や自治体とも連携し、課題解決や事業創出を図る「地域共創プラットフォーム」を目指している点が特徴です。

2026年4月には、広島トヨペット株式会社(本社:広島市西区)の会員組織「ひろしまプラス倶楽部」の基盤として採用されています。たるぽ全体の会員数は2026年5月18日時点で39万3千人を超えています。

■ 評価されたポイント

今回の受賞では、地方紙が持つ地域での接点を生かし、自社エリア内で顧客データ基盤を共通化した点が評価されました。また、消費者向けサービスにとどまらず、外部企業や自治体との連携を視野に入れ、企業向けのビジネスにも活用を広げる構想力が評価されました。

技術面では、長年の運用で複雑化していた従来の会員管理基盤を、クラウドサービスなどを活用して再構築しました。共通IDを核に複数のサービスを横断利用できるように拡張性を高めたほか、旧会員基盤からの移行時には、既存会員の利用を維持しながら新規登録を促す導線を整えました。

短期間で会員数を大きく伸ばした点も、技術設計と運用設計を一体で進めた好例として評価されました。

中国新聞社は今回の受賞を励みに、「たるぽ」を通じて地域企業や自治体との連携の可能性を広げ、地域社会に役立つデジタル基盤の構築に取り組んでまいります。

【公式サイト】

URL: <https://tarupo.jp/>

【会社概要】

会社名: 株式会社中国新聞社

所在地: 広島市中区土橋町7-1

代表者: 代表取締役社長 岡畠鉄也

設立: 1892年(明治25年)5月5日

URL: <https://www.chugoku-np.co.jp/>

事業内容: 日刊紙「中国新聞」の発行、「中国新聞デジタル」「みみみ」の運営、文化・スポーツ事業の開催などの事業を多角的に展開している。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社中国新聞社 メディア開発局

担当: 片山、石井

TEL: 082-236-2133

Email: tarupo-info@chugoku-np.co.jp